市推だより　“ヒューマン　シティ”

Human City

No.１２８（2026年７月）
編集／発行：加古川市
加古川市人権啓発推進員協議会
事務局　人権文化センター
TEL427-9356　FAX426-0062

「誰もが幸せを感じる社会」へ

加古川市人権啓発推進員協議会　　会 長　　浜田　時子



２０２６年度、会長を務めさせていただく事になりました。皆さまには何かとお世話になりますがどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度も昨年度から継続し、同和問題の解決を核とした「人権を大切にするまちづくり」をめざして～気づきから行動へ～を共通テーマに活動して参ります。

昨年度も、各地域では市推の皆さまを中心に関係者のご協力のもと、町内懇談会をほぼ市内全域で開催していただきました。広範囲で人権啓発が行われていることは本当にありがたく嬉しいことでございます。是非継続してきめ細かな人権啓発になればと願っております。

しかしながら、いまだに同和問題に関する偏見や差別は後を絶ちませんし、急激な社会の変化に伴い、さまざまな問題が生じてきています。特にインターネット上の誹謗中傷や権利侵害は大きな社会問題になっています。

兵庫県では今年１月に「インターネット上の誹謗中傷や差別など人権侵害の防止に関する条例」が施行されました。法令の整備は進んでいますが、何より大切なのは私たち一人一人が正しい情報を得る力と、根拠のない無責任な書き込みや言動に対して厳しい目を向けることではないでしょうか。

最近はAIが社会生活に大きな影響をもたらすようになりました。１０代の人は日常的にAIを利用する割合が増加しており、その結果、親、兄弟、友人など周りの人と会話をしなくても何も困らないという声が聞こえているそうです。人と人との生のコミュニケーションの大切さを痛感します。人として大切なものを見失わないよう活動していきたいものです。

私たち市推協の目的は、人権侵害で苦しむ人のいない、誰もが幸せを感じ、住んでよかったと思える加古川市のまちづくりです。その為には同和問題をはじめ、あらゆる人権課題の解消に取り組んでいかなければなりません。

今年度も、３４９名の市推の皆さまと共に行動できる市推協でありたいと思っております。

加古川市人権啓発推進員協議会（市推協）役 員 紹 介



副会長
藤原　一朗



副会長
槌田　　実



副会長
坂田　　亨



副会長
姫田　泰隆



会　計
小林由美子

2026（令和8）年度総会

加古川市人権啓発推進員協議会（以下「市推協」という。）は、地域で人権尊重の意識を広め、人権問題への理解促進のための啓発活動をする組織です。市推協は、町内会長から推薦され加古川市長より委嘱を受けた人権啓発推進員（以下「市推員」という。）３４９名（４月１日現在）で構成されています。

本年度の市推協総会は、５月２８日（木）にＳＨＯＷＡグループ市民会館にて開催され、２０２５年度事業報告・決算報告並びに監査報告、２０２６年度役員・事業（案）・予算（案）が承認されました。会長・副会長・会計（計６名）、各小学校区から代表理事（計２８名）その中から常任理事（計１２名）の新体制のもと「同和問題の解決を核とした『人権を大切にするまちづくり』をめざして ～気づきから行動へ～ 」を共通テーマに市推員全員で取り組んでいきます。

人権啓発の目的は、次のとおりです。

①「人を大切にする」ことを学び、「一人一人をかけがえのない存在」と感じ、人に対して「温かい心」を育む。

② いわれのない差別による「くやしい思い」を誰にもさせない社会をつくる。

市民の皆様にもこの目的をご理解いただき、お互いの人権を守り、差別のない明るいまちづくりを進めます。



【総会であいさつする浜田会長】

～ 市推員の役割と活動 ～

市推員は、市の条例「加古川市人権啓発推進員設置に関する条例」に基づき、市民に対する人権啓発の推進を図る活動を行います。

具体的には、自己啓発として[全体研修会：４回/年、各小学校区別研修会：数回/年]に参加します。加えて、地域の人権の見守り役、つなぎ役、伝え役として、町内懇談会（以下「町懇」という。）を実施し、町内会の皆様に人権尊重の大切さを広めてまいります。



【第１回全体研修会の様子】

町懇では、以下のような研修等を行っています。

・人権アドバイザーなどの講師を招いての講話
・啓発ビデオを視聴後、グループ討議などの話し合い
・啓発ビデオを視聴後、講師からの解説を受ける

今後も、市推員が中心となって人権を尊重する明るいまちづくりを進めてまいりますので、地域の皆様にも積極的に活動にご参加いただきますようお願いします。

〔 野口小学校区　南　徹 〕

永年活動者表彰を受けて

市 長 表 彰

若宮小学校区　　安樂　桂馬　さん

　このたび、市推員としての永年活動に対し表彰を賜り、大変光栄に思います。
　これまで活動を続けてこられたのは、地域の皆さまや関係者の方々のご理解とご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。
　私は、人権とは特別なものではなく、一人一人が互いを尊重し合うことから始まるものだと考えています。社会にはさまざまな立場や考え方を持つ人がおり、多数派（マジョリティー）も少数派（マイノリティー）も、それぞれの思いや事情があります。お互いを認め合い、少しずつ理解し、時には譲り合うことができれば、誰もが安心して暮らせるより良い社会につながるのではないでしょうか。
　今回の表彰を励みとし、今後も地域の皆さまとともに、人権が尊重されるまちづくりに努めてまいります。



【市長表彰の様子】

会 長 表 彰

平岡小学校区　　金川　俊英　さん

　このたび、市推員を退任するにあたり浜田会長より感謝状をいただきありがとうございました。
　長年にわたる市推活動に見合う貢献ができたか甚だ疑問ですが、感謝状をいただいた事は大きな喜びであり、心から御礼申し上げます。
　さて、市推員の役割は、市民に対する人権啓発の推進を図ることです。まず自己研鑽、次に身近な実行、そして人権尊重の啓蒙活動といわれますが、思い返すと自分は自己研鑽を繰り返すばかりだったようです。研修会等で新しい情報に触れると、それまで考えもしなかった事に気がつき、それに関して新しい情報を求めるとまた新しい気づきがあるというプロセスの繰り返しでした。私の市推活動は、主に自己研鑽だったようです。
　そのような至らぬ私でしたが、多くの知識と気づきを得たことに充実感を感じることができ市推活動に従事できて良かったと思っています。拙文を読んでいただいている皆さんの市推活動が公私ともに充実したものとなることをお祈りしております。



【会長表彰の様子】

２０２６年度 市長感謝状を受けられた皆様

柿本　紀巖（志方）　坂上　肇（若宮）　安樂　桂馬（若宮）　玉田　要（志方東）　小倉　光夫（野口北）

～加古川市人権啓発推進員の委嘱期間が8年を超えた在任者の方々～

２０２６年度 会長感謝状を受けられた皆様

田中　恒計（平岡南）　木戸　克彦（平岡）　金川　俊英（平岡）　大谷　俊夫（野口南）

西岡　通宏（東神吉）　藤原　邦高（平荘）　細谷　欣司（氷丘南・氷丘）

～加古川市人権啓発推進員の委嘱期間が6年を超えた退任者の方々～

敬称略・（　）内は小学校区

ごあいさつ

加古川市人権文化センター教育・啓発専門員　神吉　薫



【神吉】

この４月より、人権文化センターで教育・啓発専門員として勤務しております神吉と申します。

このたび、加古川市人権啓発推進員協議会の事務局を担当させていただくことになりました。まだ学ぶことの多い毎日ですが、地域の皆さまとの出会いや温かいご指導に支えられながら業務に取り組んでおります。

私は、人権とは特別な場面だけで考えるものではなく、日々のあいさつや心がけ、相手を大切にする気持ちの中に息づくものだと考えています。一人一人の違いを認め合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりのためには、身近なところから人権意識を育んでいくことが大切だと感じております。

また、先日の総会では、多くの市推員の皆さまがご参加されている様子を拝見し、皆さまの継続的な学びや取組が、互いを尊重し合えるまちづくりの大きな力となっていることに感銘を受けました。

これから多くの方々とのつながりを育み、人権について深く学び、考える機会づくりができるよう努めてまいります。今後ともご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【今後の研修の予定】

人権フォーラム 2026（第２回全体研修会）
【８月９日（日）14：00～　ＳＨＯＷＡグループ市民会館（加古川市民会館）】
講師　バイマーヤンジンさん（歌手）

第３回全体研修会
【１０月６日（火）15：30～・８日（木）19：00～　人権文化センター】

明日をひらく人権のつどい（第４回全体研修会）
【１２月６日（日）13：30～　ＳＨＯＷＡグループ市民会館（加古川市民会館）】
講師　岩田　稔さん（阪神ﾀｲｶﾞｰｽ ｺﾐｭﾆﾃｨｱﾝﾊﾞｻﾀﾞｰ、元プロ野球選手）

広 報 委 員 の 紹 介



委 員 長	小杉　髙司	（尾　上）		
副委員長	長谷坂　春夫	（氷　丘）		
委　　員	南　　徹	（野　口）	藤井　裕文	（平　岡）
	江草　節子	（陵　南）	山﨑　晃子	（別　府）
担当役員	坂田　　亨	（副会長）	姫田　泰隆	（副会長）

小林　由美子（会　計）

本年度、上記のメンバーで市推だより“ヒューマン　シティ”を編集発行します

◇◇◇ どうぞよろしくお願いします ◇◇◇